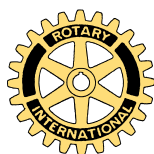


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2024～2025年度 国際ロータリー ステファニー A. アーチック 会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック

 創立 1954年 3月 8日
 承認 1954年 3月30日

 例会日時 毎週月曜日
 12:30～13:30
 例会場 刈谷市新栄町3の26
 刈谷商工会議所内
 事務所 TEL <0566>22-2111
 FAX <0566>25-2111
 メール kariyac@katch.ne.jp
 ホームページ http://www.kariya-rotary.com
 会長 内 藤 昇
 幹事 磯 部 一
 会報委員長 花 井 淳

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3276回例会プログラム

[当年度=35回目；当月=4週目]

2025年（令和7年）5月26日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:10 〈食 事〉
 12:28 1. チャイム
 12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉
 3. 開会宣言
 4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
 5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
 6. 会長挨拶並びに会長報告
 7. 幹事報告
 8. 出席報告
 9. 委員会報告
 10. ニコニコボックス報告
 11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
 (6/2) ……
 卓話
 講師 協同組合東農地域木材流通センター
 センター長 片田 岳史 様
 (紹介者 池田 直樹 会員)
 (6/9) ……
 休 会 (定款第7条第1節 (d))

13:00 12. 本日のプログラム

- 卓話 「刈谷の皆様を支えられた
 森づくりプロジェクト」
 講師 公益財団法人オイスカ
 春日 智実 様
 (紹介者 伊藤 節夫 会員)

13. 謝 辞
 14. 点 鐘……〈会 長〉
 15. 閉会宣言

13:30 16. 散 会

ゲ ス ト

公益財団法人オイスカ

愛知県支部 事務局長 村松 明 様

 プラヤット・サバンスック 様
 スワン 様


春日智実 様 スワン 様 プラヤット・サバンスック 様

出 席

会員総数 94名 出席免除 23名
 出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
 欠 席 10名 出席率 88.37%
 前々回 (5/10) の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 5月19日、刈谷市役所にて開催された、刈谷市観光協会総会に出席して参りました。

幹 事 報 告

- 1) 緑の募金のお願いがありました。緑の羽根を回しますのご協力よろしくお願い致します。
 2) 本日例会終了後に特別会議室にて第12回の理事会を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

内藤 昇



5月26日は大相撲の歴史に残る日になったようです。

1937年5月26日には双葉山定次が第35代横綱に昇進しました。

1935年に蓄膿症の手術を受けたのを機に体重が増え、それまでの相撲ぶりが一変しました。取り口そのものは正攻法で変わらなかったが、それまでは力不足で土俵際まで押し込まれることが多かったのに対し、立合いから「後の先をとる」を地で行き相手より一瞬遅れて立つように見えながら先手を取り、右四つに組み止めた後に吊り出し、寄り、または左からの上手投げで相手を下すようになりました。

1936年1月場所は初日の新海蔵戦で敗れて黒星発進でしたが、武蔵山から初金星を奪い、清水川・男女ノ川の両大関も破るなど2日目から4連勝、6日目に全勝の玉錦と対戦する。この玉錦戦に敗れて4勝2敗とするが(玉錦はそのまま全勝優勝)、7日目から69連勝がスタートしました。双葉山はこの場所を5連勝で終えて9勝2敗、翌場所の関脇昇進を決めた。

新関脇で迎えた同年5月場所では、9日目に玉錦を初めて破って11戦全勝で初優勝を果たし、場所後に大関へ昇進しました。これ以降、双葉山は本場所でも玉錦に負けることはありませんでした。1937年1月場所も11戦全勝で優勝したが、この場所でも玉錦は初日から6連勝しながら左上腕骨折のために途中休場しており、双葉山の5連覇中において唯一、玉錦戦が組まれなかった場所とされている。

双葉山はその後、同年5月場所も13戦全勝で連続での全勝優勝を果たし、横綱に推挙されます。昭和以降に大関へ昇進した力士で大関在位期間が全勝だったのは双葉山のみだそうです。すごいですね。

1963年5月26日には第48代横綱大鵬幸喜が大相撲史上初の6場所連続優勝を達成しました。

新横綱の場所である1961年(昭和36年)11月場所、1962年(昭和37年)1月場所と連続優勝を果たすと、同年7月場所から1963年(昭和38年)5月場所まで最初の6連覇を達成した。1966年(昭和41年)3月場所からは再び6連覇を達成する。これまたすごいですね。

2025年5月26日横綱審議委員会が開催され、大の里泰輝が第75代横綱に昇進。

2023年夏場所の初土俵から所要13場所。横綱昇進となれば、年6場所制となった1958年以降初土俵の力士で、元横綱輪島(七尾市出身)の21場所を抜いて最速となります。大相撲夏場所、綱とりに挑んでいた大の里は初日から連勝を続け、自身最長となる13連勝とし、13日目に自身4回目、大関としては2場所連続の優勝を果たしました。

千秋楽に横綱 豊昇龍に敗れたものの最終的には14勝1敗の好成績を残しました。横綱審議委員会の昇進内規を満たし、場所後の横綱昇進を確実にしました。令和5年夏場所の幕下10枚目格付け出しの初土俵から所要13場所での横綱昇進は、昭和以降最速。日本出身では平成29年初場所後に昇進した大の里の師匠でもある稀勢の里(現二所ノ関親方)以来8年ぶりとなります。

幕内戦歴、101勝34敗(9場所)、4優勝、1準優勝、3技能賞、2殊勲賞、3敢闘賞

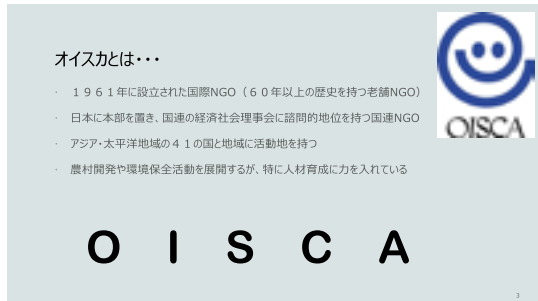
初土俵から負け越しなしでの昇進は33年以降初めてだそうです。

大の里はこれまでの経緯からは史上最強の大横綱になる可能性を秘めていますね。今後の活躍を期待します。

卓 話

「刈谷の皆様を支えられた森づくりプロジェクト」

講師 公益財団法人オイスカ 春日 智実 様



2011年

2010年から継続しての植林の他、学校を訪問しての記念植樹なども行われた








2012年

急な傾斜での作業を観察し、以前の植林地への補植を実施。

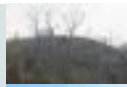






2013年

2013年、乾季には森林火災が発生。住民たちがいち早く駆けつけて消火活動を行う。




2018年

プロジェクト終了5年後、大きく成長した森をご覧いただく。あのはげ山だった森が緑に覆われ、はちみつが取れるようになった。






森づくりの成果




教育の成果

木々の成長とともに子どもたちもまた、大きく成長していく。そんな「子供の森」計画という環境教育活動の成果をはっきりと見せてくれた。




2025 DISCA THAILAND

未来を作り守るEBSプロジェクト
ความเป็นมาของโครงการ
~ECO-system Based Solution Project~



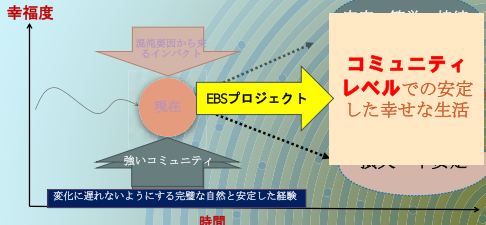
災害から人々の命と生活を守りたい




森を守り、育て、環境を整える ⇒ 生態系や自然を活用した防災・減災
EBS (Ecosystem-based Solution) の実施

17

コミュニティレベルでの気候変動への対応策



ステップ1

地域の課題・問題の検証とプロジェクトの構築
地域住民からの要望の検証、情報収集




住民とオイスカとの話し合い、情報収集

専門家からの助言を得て、効果的な地域の森づくりのステップを確認

ステップ2

現状確認
状況を確認し、問題と課題を丁寧に把握




現場を実際に訪れて、状況を確認する

GPSで植林面積の確認

プロジェクトの概要

実施場所：北部タイ（主にチェンマイ県）
実施時期：2025年～2028年
植林面積：植林事業、およそ32ヘクタールを目標とする（複数の村の水源地区にて実施）
必要経費：年間およそ453万円（レート1B=4.6円の場合）
＊植林事業、啓発活動、調査活動、調整費、現地人件費などを全て含む

オイスカの寄付ページQRコード



